

発達障害・情緒障害通級指導教室 自立活動 学習指導案
 —コミュニケーションに課題のある児童の指導—

平成30年11月6日（火）第5校時

1 対象児童 ≪省略≫

2 児童の実態 ≪省略≫

3 指導観

これまでに通級指導教室では、落ち着いた環境の中で、精神的安定を図り、本来持っている能力を発揮し、自信をもつことができるように指導の改善・工夫に努めてきた。そして、何より個のニーズに応じた指導を行うため、学級担任、保護者との連携を深め、個別の指導計画を作成し、「本児の抱えるコミュニケーションの苦手さの改善」を目指し、指導を行っている。

本児については、SST（ソーシャルスキルトレーニング）を中心とした指導を重ねている。総合教育センターで作成された「SSTに関する指導プログラムの開発」（平成17年度総合教育センター研究報告書第300号）の中の、SSTの12の基本スキル「あいさつ」「自己紹介」「上手な聴き方」「質問」「仲間の誘い方」「仲間の入り方」「あたたかい言葉かけ」「共感（気持ちをわかって働きかける方法）」「トラブルの解決策」「やさしい頼み方」「上手な断り方」「自分を大切にする方法」のスキルを獲得するために指導を重ねている。

≪中略≫

また、SSTの分類（図1）の中から本時で獲得を目指すSSTは図1に○印で示している。

【図1】SSTの分類（本時で習得を目指すSSTに□印）

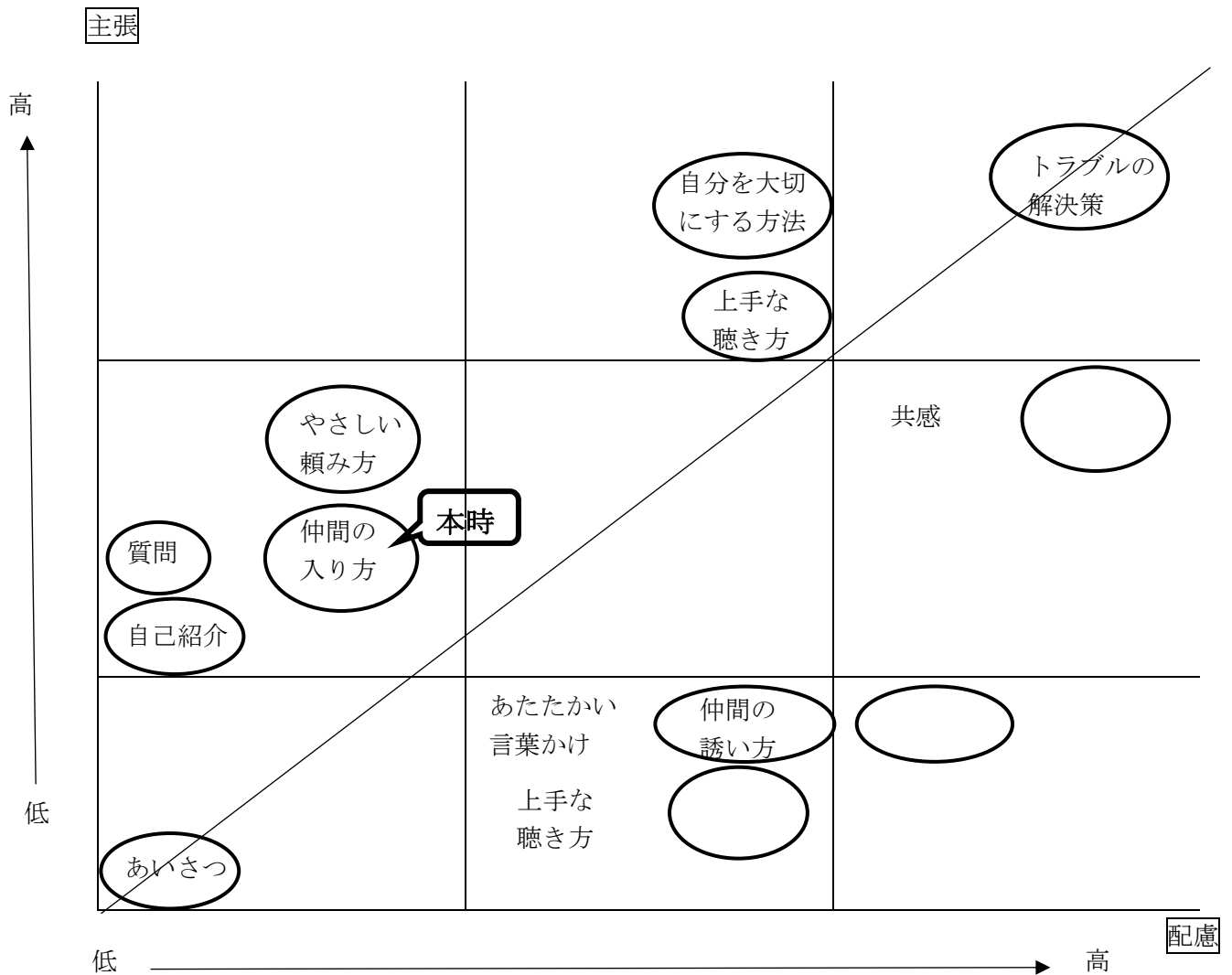
| 領域 | スキル |
|-----------|---|
| 学習態勢 | 着席する、見る、聞く、発言する、待つ、並ぶ、移動する、指示やルールを理解する、指示やルールに沿う |
| コミュニケーション | あいさつ、返事、お礼、謝罪、依頼などやりとり、気持ちや考えを表現する、相互性のあるやりとり、報告・連絡・相談する、上手に話し合う、会話、視線やジェスチャーなどの理解と活用 |
| 仲間関係 | 仲間意識、所属感、仲間にかかわる、協調的に遊ぶ、相手に注目する、他者に配慮する、友人関係の形成と維持 |
| 情緒・自己 | 感情の認識、感情のコントロール、情緒の安定、信頼関係の構築、自尊感情を高める、得意・不得意の自己理解、課題の自己理解 |
| 生活 | 身だしなみ、衛生管理、持ち物管理、整理整頓、時間・スケジュールの管理、家庭の手伝い |

【図2】 ソーシャルスキル尺度 《省略》

【図3】 「配慮」「主張」のバランスとSST

| 配慮と主張のバランス | 初級～上級 | SST |
|--------------------|-------------------|--|
| 配慮＝主張 | 1段階 2段階 3段階 | ・あいさつ ・トラブルの解決策 |
| 配慮＞主張 配慮が優位のスキル | 1段階 2段階 3段階 | ・上手な聴き方 ・あたたかい言葉かけ ・仲間の誘い方 ・共感 (気持ちをわかって働きかける方法) |
| 主張＞配慮 主張が優位のスキル | 1段階 2段階 3段階 | ・自己紹介・質問 ・やさしい頼み方・仲間の入り方 本時 ・上手な断り方 ・自分を大切にする方法 |

【図4】 「配慮」「主張」とSSTの関係 (イメージ図)



「SSTに関する指導プログラムの開発」(平成17年度総合教育センター研究報告書第300号)より引用

4 指導の経過 《省略》

5 指導計画

通級の個別の支援計画（平成30年度）

| | |
|-------------|--|
| 1 健康の保持 | ・通級の連絡帳等を通して、起床時間・食事の有無等の把握を通して健康の保持に努める。 |
| 2 心理的な安定 | ・リラクゼーションを通して心理的な安定を図る。 ・ゲーム的活動を通しての勝ち負け体験により、気持ちのコントロールの仕方を身に付ける。 |
| 3 人間関係の形成 | ・SSTでその場の状況に応じた適切な行動の仕方を身に付ける。 |
| 4 環境の把握 | ・聞き取りのドリル等を使用し、聞く力を高めるトレーニングをする。 ・視覚記憶トレーニングで、集中力を身に付ける。 |
| 5 身体の動き | ・ひも通し、ペグボード、折り紙等の微細運動を行い手指の操作性を高める。 ・ストラックアウト、ボウリング、風船バレーなどの粗大運動を行い、運動に対する苦手意識を軽減させる。 |
| 6 コミュニケーション | ・SSTを通して、教室でも適応できるようにする。 ・通級担当者との対話を通して、適切な会話を身に付ける。 |

6 本時の計画

(1) 指導の目標

- ・集中して学習活動に取り組むことができる。
- ・状況や場面に応じたあいさつや、自分の気持ちを言葉にして相手に伝えることができる。
- ・安定した気持ちで授業を受けることができる。

SST「仲間の入り方」の指導のねらい

- ・仲間に入れてもらったときの心地よさを味わうことを通して、どうしたら気持ちよく仲間に入れるのかを体験させる。そして、自分が仲間に入りたいときの具体的な方法を知り、自分から仲間に働きかけるスキルを身に付けさせたい。

獲得目標とするスキル

- ・「笑顔で近付く」そして「相手の目を見て」「相手に聞こえる声で」話しかける。
- ・「入れて」などの言葉をかける。

(2) 展開

| 時間 | 学習活動 | 学習内容 | 指導の工夫と留意点 |
|----|-----------|---------------------------|---|
| 2分 | 1 始めのあいさつ | ・自分で号令をかけ、相手を意識してあいさつをする。 | ○正しい姿勢で相手を意識してあいさつをさせる。 ○教師の姿勢を見て、自ら姿勢を整え指導者と正対できるようにする。 |

| | | | |
|-----|---|--|--|
| 5分 | 2 予定表記入 ・見る ・聴く | <ul style="list-style-type: none"> ・学習の予定を聞き、見通しをもつ。 ・本時の学習内容の確認をする。 ・学習カードに予定を書く。 | <ul style="list-style-type: none"> ○何をどのような順番で行うのか見通しがもてるように話をする。 ○黒板に今日やることを示し、授業の見通しがもてるようにする。 ○誤字脱字等がないか確認し、一つ一つの文字を丁寧に書くように意識させる。 |
| 5分 | 3 わたしのこと ・見る ・考える ・表現する | <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活、家庭生活で印象に残ったことについて話し、短作文を書く。 | <ul style="list-style-type: none"> ○「いつ」「どこで」「だれが」「なにをした」「どう思ったか」を意識して話をし、短作文にも書けるように働きかける。 ○「どう思った」のところで感情語が浮かばない場合には、表情カードを使用し気持ちを表現させる。 ○教師の質問に相手の目を見て答えることができるように意識させる。 |
| 15分 | 4 SST(ソーシャルスキルトレーニング) 「仲間の入り方」のワークシートを使い、自分の気持ちを整理し、相手にどんな言葉をかけたらいいかを考え、身に付ける。 | <p>課題学習 「仲間の入り方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題の理解 ↓ ・自分の気持ちの確認 ↓ ・自分の気持ちの伝え方 | <ul style="list-style-type: none"> ○相手の気持ちを考えながら、適切な言葉をかけられるようにする。 ○本人の言葉を大切にしながら必要に応じてヒントを与える。 <p>【評】「笑顔で近づく」そして「相手の目を見て」「相手に聞こえる声で」話しかけることができたか。</p> |
| 10分 | 5 質問カード ・見る ・考える ・話す | <ul style="list-style-type: none"> ・時間を決め、カードの質問に順番に答えていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ○やり方やルール、時間等を確認する。 <p>【評】質問に対する答えを、自分の考えを整理し伝えることができたか。</p> |
| 5分 | 6 運動 | <ul style="list-style-type: none"> ・ストラックアウトを行い、勝ち負け体験を通して、気持ちのコントロールの仕方を身に付ける。 | <ul style="list-style-type: none"> ○やり方やルール、時間等を確認する。 <p>【評】集中して指示を聞き、運動を楽しむことができたか。</p> |

| | | | |
|----|-----------|--|---|
| 3分 | 7 学習の振り返り | <ul style="list-style-type: none"> 今日の学習の振り返りをする。(連絡帳の記入) 終わりのあいさつをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ○学習したことを振り返り努力したことやがんばったことに気付かせ、自信をもたせる。 ○元気にあいさつをさせる。 |
|----|-----------|--|---|

(2) 評価

- ・集中して学習活動に取り組むことができたか。
- ・状況や場面に応じたあいさつや、自分の気持ちを言葉にして相手に伝えることができたか。
- ・安定した気持ちで授業を受けることができたか。

S S T 「仲間の入り方」の指導の評価

- ・「笑顔で近付く」そして「相手の目を見て」「相手に聞こえる声で」話しかけることができたか。



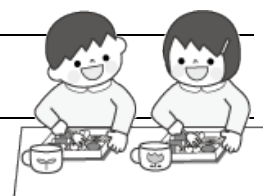
めあて

どうしたら気持ちよく仲間に入れてもらえるのかを考えよう

1 場面

- ・遠足にきています。友だちと楽しそうにお弁当を食べようとしている子どもたちと、一人でぼつんとしている子どもがいます。この一人ぼっちの子どもは仲間に入りたと思っています。

仲間に入りたいこの一人ぼっちの子どもは、どうしたらいいと思いますか。



◆仲間に入るタイミング・・・

- ①遊びの切れ目やちょっと間があいた時
- ②相手が自分に気付いてこちらを見た時
- ③話しかける相手が周りの様子を気にしている時



◆仲間に入ることをことわられた時は・・・

- ①もう一度たのんでみる。
- ②どうしてだめなのかという理由を聞く。
- ③理由によって、平気そうならもう一度たのんでみる。
- ④理由がよくわからない場合でもむりやり仲間に入ろうとしない。
- ⑤入れてもらえそうなら他のグループをさがしてみる。



今日の授業で感じたことや学んだことを書きましょう。
